



**国際ユース競技規則
(モノボブ及びスケルトン)
2018年版**

この文書で明確に記載していることを除いて、現在の国際ボブスレー競技規則及び国際スケルトン競技規則に記載されている全条文は、ユースのモノボブ及びスケルトンに同等に適用する。

ユース・オリンピック大会参加資格認定大会

モノボブ及びスケルトン

- ・参加資格認定システムは、IBSFの参加資格認定システム文書に従って行われる。
- ・2020年ローザンヌユースオリンピック大会の参加資格を得るには、全ての選手は、公式資格認定期間中に2つの異なるトラックで少なくとも3回のIBSFユース参加資格認定大会に参加し、順位結果を獲得する必要がある。
- ・ユース大会において、各国男女ごとに、モノボブ種目に最大3人の選手、スケルトン種目に4人の選手が登録できる。
- ・全ての参加者は、有効なIBSFライセンスを所持していなければならない。
- ・年齢制限－最少年齢制限はIBSFの国際競技規則に従い、最高年齢制限はユースオリンピック大会の参加資格認定要件（選手は2002年1月1日以降生まれでなければならない。）に従うものとする。
- ・法的責任－選手は、滑走前にIBSF及びトラック特定権利放棄書類に署名し、第1回チームキャプテンズミーティング前にIBSFコーディネーターにこれを提出しなければならない。18歳未満の選手の場合、これらの権利放棄には親または保護者の署名が必要となる。
- ・エントリー代は、IBSFにより決定され、IBSFに支払われる。エントリー代は大会招待状で告知される。モノボブのエントリー代は電信送金で支払わなければならない。IBSFコーディネーターと事前合意した場合には、現地の第1回チームキャプテンズミーティングの前にエントリー代を支払うことができる。

モノボブ競技規則

重量

- ・男子における選手及びおもりの最大重量 = 100kg
- ・女子における選手及びおもりの最大重量 = 85kg

グループ割り当て

利用可能なそりより選手のほうが多い場合、そりは共有することとし、選手は最高ランクの選手をグループA、次に高位の選手をグループB、以下同様に選手のIBSFランキングに基づくグループに割り当てられる。各グループは、そのグループの選手にそり番号を割り当てるランダム抽選を行い、必要に応じて各グループの下位の選手がそり番号を共有する。

例：10台のそりを使用する13人の選手がいる。上位10選手はグループAとし、残りの選手はグループBとする。選手にランキングポイントがない場合、無作為抽選で各グループ内の順番を決める。3台のそりが共有されなければならないので、上位7選手のためにそりの無作為抽選が行われ、これらのそりは共有されない。グループAの最後の3台のそりについては別の無作為抽選を行い、グループBの選手は、登場する順番でこれらのそりを共有する。（グループAの8位とグループBの1位が共有、グループA9位とグループB2位が共有など）

装備の抽選

- ・装備はグループ間で共有される。複数の練習グループで行われる場合、複数の選手がそりとランナーを共有する。
- ・第1回チームキャプテンズミーティングにおいて、そり番号が、IBSFランキングに基づいたグループ内の各練習日ごとに、各選手について電子的に（可能であれば - それ以外は手作業で）抽選される。IBSFランキング表がない場合、そりは姓のアルファベット順に抽選される。
- ・ユースオリンピック大会及び参加資格認定大会において、選手は、練習日ごとに別のそりを抽選しなければならない。選手は、大会期間中、同じそりで2回練習することはできない。競技日においては、選手は無作為抽選によってそりを割り当てられるので、以前に練習したそりで競技することができる。
- ・ユースオリンピック大会及び参加資格認定大会において、そりの割り振りに続いて、練習初日のそりを抽選された選手は、4本のランナーを選んで組み合わせを設定する。
- ・第1回チームキャプテンズミーティングで各そりに選ばれたランナーは、大会期間中を通して、すべての練習日及び競技日の組み合わせとして使用される。

- ・このランナーの選択は、そり番号に基づいて数字順に行われる。つまり、最も小さなそり番号を抽選した選手は、ランナーを最初に選択することができる。
- ・ランナーの選択中、ランナーは端から10cm離れたところからカバーされる。選手はランナーを扱うことは許されず、ランナーの選択のみをしてセットを完了させる。
- ・装備は、モノボブそり及びモノボブランナーで構成され、各セッションの開始時にIBSFが準備に必要な道具とともに提供する。各セッションの終了時に、選手は、すべての装備を、受け取ったときと同じ準備状態で準備エリアに戻さなければならない。
- ・大会中にそりまたはランナーのセットを交換する必要がある場合、新しい装備は配備の可能性に基づいて割り当てられる。再配備の可能性は、最初のチームキャプテンズミーティングで告知される。

参加資格認定大会の練習の抽選

参加資格認定大会では、割り当てられたそりの番号によって、当日の練習のスタート順が決定される。

ユースオリンピック大会の練習の抽選

ユースオリンピック大会では、割り当てられたそりの番号によって当日の練習のスタート順が決定される。スタート順は、練習日ごとに数字順に1から18番までが行われる。

参加資格認定大会の競技の抽選

- ・競技の場合、IBSFユースランキング表に基づく抽選により、スタート順が決定される。IBSFランキング表が存在しない場合、スタート順は無作為抽選によるものとする。
- ・2本滑走競技によって、グループは競技を行う。：
- ・1本目滑走：（グループ）A→B→（C→…）
2本目滑走：（…→C）→B→A

ユースオリンピック大会の競技の抽選

- ・1本目の滑走のスタート順は、IBSFユースランキング表によって決定される。
- ・最後のチームキャプテンズミーティングで、競技の1本目滑走におけるそりの割り当て抽選が行われる。
- ・競技の1本目滑走の後、そりは選手間で変更される。

- ・2本目滑走では、1位の選手は18位の選手と、2位の選手は17位の選手と、以下同様に、そりを交換する。

選手の 1本目 順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位	11 位	12 位	13 位	14 位	15 位	16 位	17 位	18 位
使用する そり の選手 順位	18 位	17 位	16 位	15 位	14 位	13 位	12 位	11 位	10 位	9 位	8 位	7 位	6 位	5 位	4 位	3 位	2 位	1 位

装備の準備

- ・各セッションの後、選手とチームキャプテンが翌日に使用する装備の準備をするために、最大1時間が提供される。選手のみがランナーを磨くことを認められている。
- ・選手アスリートまたはコーチによるそりの内部での作業は、認められない。そりの整備に懸念がある場合、チームキャプテンはIBSFの整備士にさらなる調査や調整を依頼できる。
- ・そりを共有している選手は、練習期間中、装備の準備を一緒に作業しなければならない。
- ・テープ、デカール（シール、ステッカー、マーキング、ペイント等）、画像の追加など、そりの外側には、いかなる類の変更も認められない。
- ・チームキャプテンは、次の日の練習または競技においてそりに付加したいおもりの重量を各練習セッションの1時間後以内に、ジュリープレジデントに知らせなければならない。
- ・最後のチームキャプテンズミーティングにおいて、各チームキャプテンは、競技のためにそりに付加したい希望重量を、署名による確認をしなければならない。

参加資格認定大会及びユースオリンピック大会におけるパルクフェルメ

- ・パルクフェルメは、装備の準備を可能にするため、それぞれのトラックの特殊条件を組み入れ、適合させなければならない。
- ・パルクフェルメは競技開始75分前に選手がランナーとそりを準備できるように解放する。パルクフェルメは競技開始45分前に閉鎖し、すべての準備作業は終了されなければならない。



い。 ジュリーの承認を受けたうえで必要に応じて I B S F の整備士がそりの準備を支援できることを除いて、選手のみがパルクフェルメのそりとランナーに作業することができる。

- ・そりを共有している選手は、通常、ランナーを準備するためにパルクフェルメと一緒に作業することが認められている。
- ・ランナー温は、競技開始前にパルクフェルメで検査される。
- ・ランナーがひどく損傷した場合、選手は、 I B S F サポートスタッフからの追加支援をジュリーに要請することができる。 ランナーが修理できる程度を超えてひどく損傷した場合、選手は、ジュリーからのランナー交換を要請することができる。